

環境経営レポート

2022年度

対象期間：2022年4月～2023年3月



発行日 2023年4月27日

株式会社 細田商店

目次

ページ

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	1
(2) 所在地	1
(3) 法人設立年月日	1
(4) 資本金	1
(5) 環境管理責任者氏名及び連絡先	1
(6) 組織図	1
2. 事業の概要、事業規模等	2
(1) 業許可の内容	2
(2) 施設の状況	2
① 運搬車両	2
② その他車両	2
③ 収集運搬積み替え保管施設（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）	2
④ 処理分別場施設概要（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）	2
⑤ 処理工程図（処理分別場）	3
(3) 事業の実績（2022年度（2022年4月～2023年3月まで））	3
① 産業廃棄物収集運搬量（単位 ト）	3
② 産業廃棄物中間処理量（単位 ト）	3
③ 一般廃棄物収集運搬量（単位 kg）	3
(4) 産業廃棄物処理料金	4
(5) 事業規模	4
(6) 環境への負荷状況	4
3. 対象範囲（認証・登録範囲）	5
4. 環境経営方針	5
5. 環境経営目標	6
6. 環境経営活動計画（主な施策）	6
7. 環境経営目標の実績	7
【評価】	7
(1) 二酸化炭素排出量の削減（収集運搬車両の運搬量当り燃費向上）；	7
(2) 廃プラリサイクル量の拡大；	7
(3) 木くずリサイクル量の拡大；	7
(4) 自社排出の廃棄	7
(5) 水使用量の削減；	7
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8
9. 2023年度以降の環境経営目標	8
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	9
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9
12. その他の活動	9
・別表 産業廃棄物処理業等許可情報一覧表	10

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

事業所名：株式会社 細田商店

代表者名：代表取締役社長 細田元尉

(2) 所在地

本社：〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町4-57-12

処理分別場：〒350-0002 埼玉県川越市大字古谷本郷1570番地

(3) 法人設立年月日

平成 6 年 7 月 1 2 日（有限会社 細田商店）

平成 2 2 年 2 月 2 3 日（株式会社 細田商店）

(4) 資本金

1,000万円

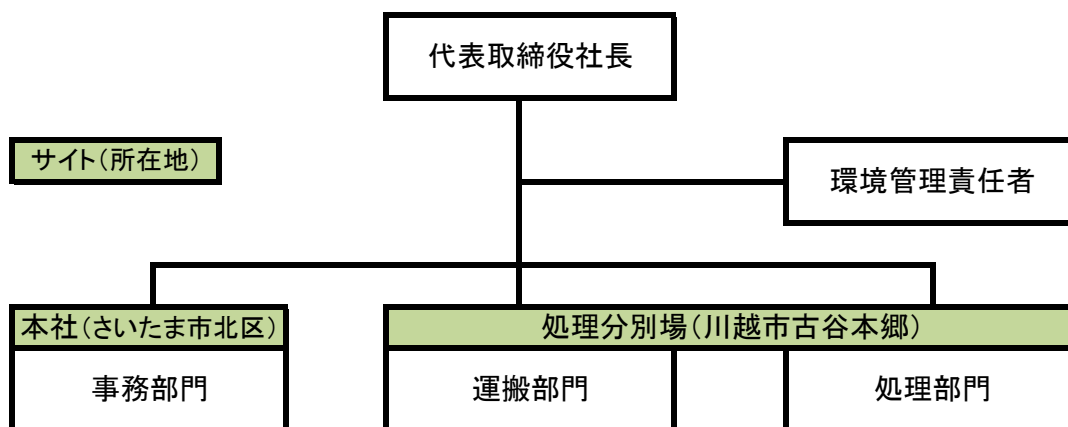
(5) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者：小島 瑠莉 リーダー

連絡先：埼玉県さいたま市北区大成町4-57-12

(電話)048-666-6538、(FAX)048-666-6590

(6) 組織図



担 当	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営方針の決定 ・ 環境管理責任者の任命 代表者による全体の評価と見直し・指示 ・ 必要な経営資源の投入
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの確立 ・ 環境経営システムの実施, 維持 環境関係法令の遵守評価の実施 ・ EA21の活動状況報告
各部門	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の実施 ・ 月別部門データの集計 問題点の把握と是正の実施

2. 事業の概要、事業規模等

(1) 許可の内容

産業廃棄物処分業（中間処分）、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、解体工事業、第一種フロン類回収業、廃棄物再生事業につき、それぞれ許可・登録あり。詳細については巻末別表に示します。

(2) 施設の状況

①運搬車両

名称	保有台数
10トン大型	1
4トンコンテナ	5
パッカー（2トン、4トン）	2
3トンコンテナ	1
2トンクレーン	1
2トンコンテナ	2

②その他車両

名称	保有台数
後方小型旋回油圧ショベル	3
フォークリフト	2
ミニホイールローダー	1

③収集運搬積み替え保管施設（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）

産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
木くず（20cm×20cm以下の角材で再生利用可能なものを除く。） 以上1種類	18m ²	1.5m
金属くず 以上1種類	18m ²	1.5m
がれき類 以上1種類	20.24m ²	1.125m
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（陶磁器くずに限る）以上1種類	20m ²	1.5m
繊維くず（廃量に限る） 以上1種類	12m ²	1.5m (7m ³ コンテナ1台)
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（廃石膏ボードに限る） 以上1種類	32m ²	1.5m (7m ³ コンテナ3台)

④処理分別場施設概要（川越市古谷本郷下組字川崎1568番1、1570番）

処理施設

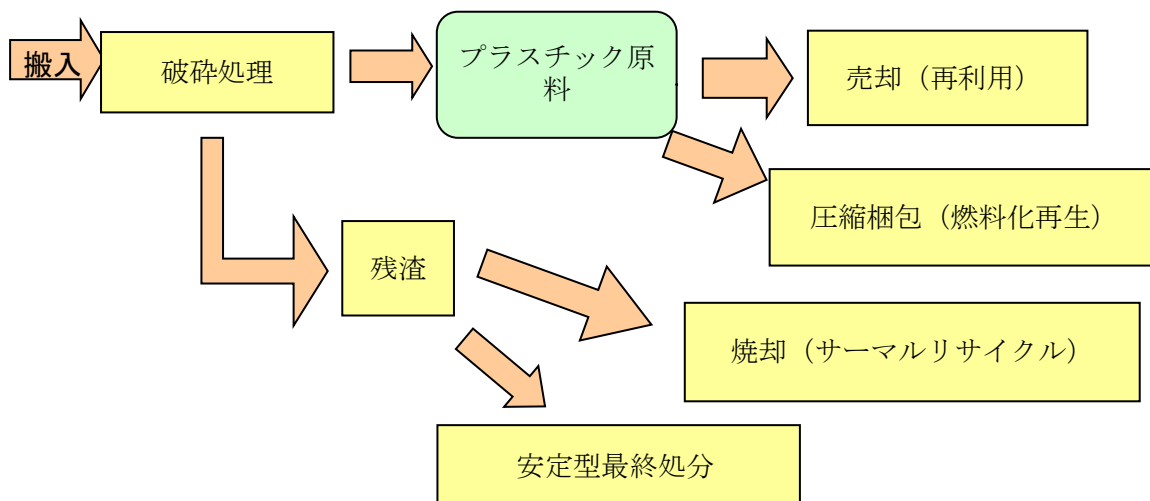
施設の種類	処理能力	産業廃棄物の種類	許可年月日
破 砕	2.8トン/日 (8時間)	廃プラスチック、以上1種類	平成14年4月5日
切 断	4.6トン/日 (8時間)	木くず（20cm×20cm以下の角材 で再生利用可能なものに限 る。）、以上1種類	平成19年1月16日

保管施設

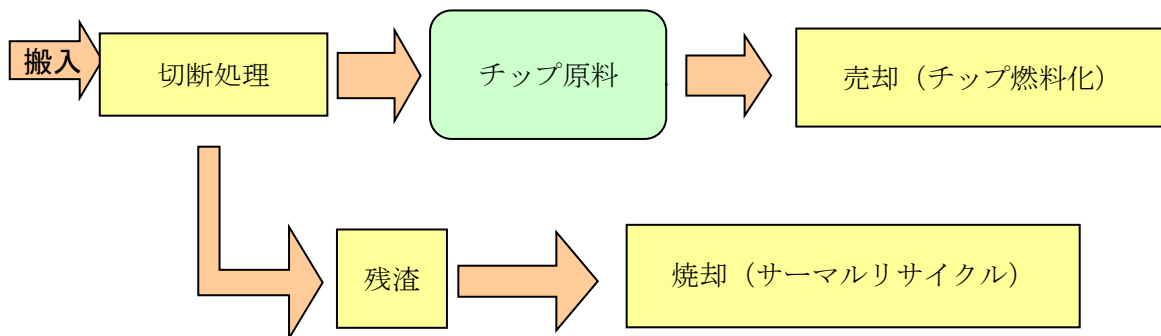
廃棄物の種類	保管面積	保管高さ
廃プラスチック、以上1種類	18m ²	1.5m
木くず（20cm×20cm以下の角材で再生 利用可能なものに限る。）、以上1種類	20m ²	2.5m

⑤処理工程図（処理分別場）

【廃プラスチック】



【木くず】



(3) 事業の実績（2022年度（2022年4月～2023年3月まで））

①産業廃棄物収集運搬量（単位 トン）

年度	2020年度	2021年度	2022年度
合計	4,314	4,363	4,075

②産業廃棄物中間処理量（単位 トン）

廃棄物種類等	処分方法	2020年度	2021年度	2022年度
廃プラ	破碎	794.8	803.6	777.3
木くず	切断	946.6	1,074.5	807.3

③一般廃棄物収集運搬量（単位 kg）

年度	2020年度	2021年度	2022年度
合計	11,620	16,660	10,700

(4) 廃棄物処理料金

廃棄物の種類、量、地域によって、金額は異なりますので詳細は、営業担当へご連絡下さい。

電話番号 (048-666-6538)

(5) 事業の規模

2021年度 (2021年4月から2022年3月まで)

年度		2020度	2021度	2022度
売上高(百万円)		296	295	275
従業員(人) ^{※1}		15	17	17
敷地面積 (m^2)	本社	262	262	262
	処理分別場	1,879	1,879	1,879
	合計	2,141	2,141	2,141

※1 従業員数は役員を含む。

(6) 環境への負荷の状況

項目		単位	2020年度	2021年度	2022年度
総エネルギー	購入電力	GJ	452	490	422
投入量	化石燃料	GJ	2,373	2,362	2,071
水資源投入量	上水	m^3	232	203	218
	地下水	m^3	1,265	1,992	1,536
二酸化炭素排出量 ^{※1}	二酸化炭素	トン-CO ₂	181	177	159
受託した廃棄物量	収集運搬量	トン	4,314	4,369	4,075
	中間処理量	トン	1,741	1,878	1,585
	うち再資源化等量	トン	1,041	1,199	955
	中間処理後の産廃の処分量 (最終処分;委託)	トン	1,741 (701)	1,878 (679)	1,585 (630)
	一般廃棄物収集運搬量	kg	11,620	16,660	10,700
一般廃棄物等総排出量	単純焼却	トン	0.5	0.5	0.5
産業廃棄物	再生利用量	トン	1,041	1,199	955
	最終処分量	トン	701	679	630
総排水量	公共用水	m^3	1,265	1,992	1,536
	下水道	m^3	232	203	218
化学物質使用量 ^{※2}	なし	kg	0	0	0

※1 電力の二酸化炭素排出係数は、環境省が令和2年1月に公表した東京電力エネジーパートナー(株)における調整後排出係数『0.455kg-CO₂/kWh』を使用しています。

※2 PRTR制度対象物質としての化学物質の使用はありません。

3. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象事業所：本社、処理分別場

対象事業活動：一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処理業、
廃棄物再生事業

4. 環境経営方針

株式会社 細田商店 環境経営方針

《基本理念》

株式会社細田商店は、産業廃棄物の収集運搬・処理業務を行う企業として、顧客に対し安心して任せられる企業を目指し、廃棄物の適正処理、分別によるリサイクル事業に取り組みます。またさらに地元信頼され、地域社会に貢献する法令遵守、環境優先並びに人にやさしい企業を目指します。

《行動指針》

1. 具体的に次の項目に取り組みます。
 - ① 収集運搬車両、重機類の使用による燃料や電力を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ② 廃プラ等の再生資源の受入量拡大をはかり、リサイクル事業を推進します。
 - ③ 分別の徹底により、当社の排出する廃棄物の削減に努めます。
 - ④ 節水の徹底により、水資源使用の節約に努めます。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. 環境経営方針及び環境経営活動を全従業員へ周知し、環境経営活動の継続的改善に努めます。また、活動内容は「環境経営活動レポート」にまとめ、広く公開します。

2008年6月1日制定
2022年7月1日改訂7
株式会社 細田商店
代表取締役社長 細田元尉

5. 環境経営目標

2021年度の実績を踏まえ、2024年度までの中期（3ケ年）の環境目標を決めました。

2022～2024年度 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	*基準値 (2021年度 実績)	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車両の運搬量 当り燃費向上) ※原単位の向上	15.0 ℓ/t	1% 向上 (14.9 ℓ/t)	2% 向上 (14.7 ℓ/t)	3% 向上 (14.6 ℓ/t)
2	廃プラリサイクル量の拡大	8.2 トン/月	1% 向上 (8.3 トン/月)	2% 向上 (8.4 トン/月)	3% 向上 (8.5 トン/月)
3	木くずリサイクル量の拡大	70.5 トン/月	1% 向上 (71.2 トン/月)	2% 向上 (71.9 トン/月)	3% 向上 (72.6 トン/月)
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持	現状維持	現状維持
5	水使用量の削減	230 m ³ /月	1% 削減 (228 m ³ /月)	2% 削減 (225 m ³ /月)	3% 削減 (223 m ³ /月)

*基準値：2021年度実績はデータのばらつきを考慮し、2021年度平均値に1σ（標準偏差）分を加減した数値を実績値としている。

6. 環境経営活動計画（主な施策）

①二酸化炭素排出量の削減

- ・燃費向上教育の実施
- ・エコドライブの周知徹底
- ・アイドリングストップ車両導入

③木くずリサイクル量の拡大

- ・分別手順の検討と作成及び教育実施
- ・リサイクル処理ルートの開拓

⑤水の使用量削減

- ・節水教育と周知徹底
- ・分別処理場構内散水の効率的運用

②廃プラリサイクル量の拡大

- ・分別手順の検討と作成及び教育実施
- ・リサイクル処理ルートの開拓

④自社排出の廃棄物の削減

- ・分別の徹底でリサイクルの推進
- ・意識向上の教育の実施。

7. 環境経営目標の実績

(2022年4月～2023年3月までの12ヶ月の活動をまとめたものです)

No.	環境経営目標項目	基準値 (2021年度実績)	2022年度目標	結果	評価
1	二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車両の運搬量 当り燃費向上) ※原単位の向上	15.0 ℓ/t	1% 向上 (14.9 ℓ/t)	1.1%向上 (13.4 ℓ/t)	○
2	廃プラリサイクル量の拡大	98.4 ^{トン} /年 (8.2 ^{トン} /月)	1% 向上 99.6 ^{トン} /年 (8.3 ^{トン} /月)	49.6%拡大 147.2 ^{トン} /年 (12.3 ^{トン} /月)	○
3	木くずリサイクル量の拡大	846 ^{トン} /年 (70.5 ^{トン} /月)	1% 向上 854.4 ^{トン} /年 (71.2 ^{トン} /月)	5.5%縮小 807.3 ^{トン} /年 (67.3 ^{トン} /月)	×
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持	平均40 kg (現状維持)	○
5	水使用量の削減	2,760 m ³ /年 (230 m ³ /月)	1% 削減 2,736 m ³ /年 (228 m ³ /月)	36.1%減 1,747 m ³ /年 (113m ³ /月)	○

評価の目安： ○… (目標達成) ×… (目標未達)

※2022年度 二酸化炭素排出量の実績：159.3トン-CO₂/年 (2021年度 (177.3^{トン} - CO₂) 比10%減)

【評価】

(1) 二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車両の運搬量当り燃費向上) ;

2022年～2024年、新三ヵ年計画を基に二酸化炭素排出量削減テーマを軽油使用量ℓ/産廃収運量tの「軽油原単位」を指標に活動しました。収集運搬量が減る中、軽油使用量は大きく増加することなく、軽油原単位としては1.1%向上し目標を達成しました。

エコドライブ、アイドリングストップ、節電の徹底が浸透した結果と考えており、その結果、二酸化炭素の総排出量も減少し、2021年度比 (177.3^{トン}-CO₂) 約10%減の159.3^{トン}-CO₂となりました。しかし、後述します木くずリサイクル量の拡大テーマが目標未達となっており、軽油原単位の目標値は木くずのリサイクル量の増減に影響を受けますので、次年度は再設定する木くずリサイクル量の拡大テーマの目標値から、新たに軽油原単位目標値を試算し直すことを余儀なくされました。したがって、次年度に向けた新目標値を再設定します。

(2) 廃プラリサイクル量の拡大 ;

廃プラリサイクル量の拡大は単月で1度だけ目標未達が出ましたが、その他の活動は順調に推移し、目標比49.6%も拡大することができました。来期も引き続き推進します。

(3) 木くずリサイクル量の拡大 ;

今年度は目標を達成することができず、目標比5.5%の縮小で活動を終えました。原因は昨年度は大口の木くずの処理を受注できましたが、今年度は一昨並みの処理量しか確保できず、苦戦しました。景気の影響もあり、自助努力だけでは解決は難しい状況になっていると考えています。したがって、3ヵ年計画の1年目から目標を達成できず、残念なのですが、次年度以降の目標値を再検討し、新たにチャレンジすることにしました。

次年度は新目標で再スタートします。

(4) 自社排出の廃棄物の削減 ;

主に一般廃棄物としてのオフィスごみで、月平均約40kgと量的にもごく少量であるため、現状維持を目標としています。活動は定着し、目標は達成しております。

(5) 水使用量の削減 ;

水使用量の削減は目標比36.1%減となり、問題なく活動を終えることができました。1年を通して、順調に推移したと思っております。次年度も継続します。

8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営活動計画の内容	環境経営活動計画（施策）	評価	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	燃費向上教育の実施	5	継続して推進する。
	エコドライブの周知徹底	5	継続して推進する。
	アイドリングストップの徹底	5	朝礼時の呼びかけを徹底する。
廃プラリサイクル量の拡大	分別手順の教育実施	5	継続して推進する。
	リサイクル処理ルートの開拓	5	広域ルート展開を検討する。
木くずリサイクル量の拡大	分別手順の教育実施	4	継続して推進する。
	リサイクル処理ルートの開拓	3	広域ルート展開を検討する。
自社排出の廃棄物の削減	分別の徹底でリサイクルの推進	5	継続して推進する。
	意識向上の教育の実施。	5	継続して推進する。
水の使用量削減	節水教育と周知徹底	5	継続して推進する。
	分別処理場構内散水の効率的運用	5	継続して推進する。

(評価点) 5点:90%以上 4点:70%以上 3点:50%以上 2点:30%以上 1点:30%未満
(スケジュールに対する進捗度、目標値に対する達成度、取組み内容の適切性、及び推進者担当者の積極性等を総合的に評価しました)

9. 2023年度以降の環境経営目標

木くずリサイクル量の目標値を変更したため、3ヶ年環境経営目標を改訂した。

2022~2024年度 環境経営目標

改訂：2023年4月21日

No.	環境経営目標項目	基準値 (2021年度実績)	2022年度目標	2023年度目標	2024年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減 (収集運搬車両の運搬量 当り燃費向上) ※原単位の向上	※1 2022年実績 値 17.3ℓ/t	1% 向上 (14.9 ℓ/t)	2% 向上 (17.0 ℓ/t)	3% 向上 (16.8 ℓ/t)
2	廃プラリサイクル量の拡大	8.2 トン/月	1% 向上 (8.3 トン/月)	2% 向上 (8.4 トン/月)	3% 向上 (8.5 トン/月)
3	木くずリサイクル量の拡大	※ 2022年実績 値 49.2 トン/月	1% 向上 (71.2 トン/月)	2% 向上 (50.2 トン/月)	3% 向上 (50.7 トン/月)
4	自社排出の廃棄物の削減	月平均 40 kg	現状維持	現状維持	現状維持
5	水使用量の削減	230 m ³ /月	1% 削減 (228 m ³ /月)	2% 削減 (225 m ³ /月)	3% 削減 (223 m ³ /月)

(※1) 2022年度実績はデータのばらつきを考慮し、2020年度～2022年度平均値に1s(標準偏差)分を加減し、数値を実績値としている。

(※2) 2022年度実績はデータのばらつきを考慮し、2022年度平均値に1s(標準偏差)分を加減した数値を実績としている。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

令和5年3月に環境関係法令等の遵守状況を確認した結果、問題はありませんでした。なお、過去5年間、関係当局からの違反及び近隣からの苦情等の指摘はなく、また訴訟もありません。

★ 遵守すべき主な環境関連法令は下記の通りです。

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・貨物自動車運送事業法
- ・道路交通法
- ・労働安全衛生法
- ・浄化槽法
- ・埼玉県生活環境保全条例 等

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

二酸化炭素排出量の削減、廃プラリサイクル量の拡大、自社排出の廃棄物の削減、水の使用量削減、これらのテーマは順調に活動を推進できました。しかし、唯一、木くずリサイクル量の拡大テーマは当初から単月目標の未達成が散発し、後半は累積目標でも未達成が連続しました。

原因は昨年、本テーマが目標達成できた結果を実力値と判断してしまい、さらに、景気動向の変化も重なり、目標を達成できなかったものと考えています。

したがって、3カ年計画を策定したばかりですが、自助努力だけでは回復は難しいと考え、木くずリサイクル量の拡大テーマの目標値の変更を指示しました。

それに伴い、木くずリサイクル量の増減に影響を受ける、軽油原単位の目標値も再検討しなければならなくなり、新たに目標値を再設定しました。その他の目標値の変更はありません。次年度はすべてのテーマが目標達成できるように努力していきます。

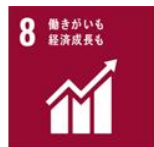
なお、木くずリサイクル量及び軽油原単位の目標値の変更以外、実施体制を含む環境経営システムの変更はありません。

12. その他の活動

弊社はエコアクション21の認証取得から14年目となります。改善活動はしっかり定着したものであると思っておりますが、さらなる成長を目指して、昨年度に埼玉県のSDGsパートナーシップ制度に登録し、活動しております。

これからもエコアクション21活動と併せて、SDGs達成に向けて邁進してまいります。

埼玉県パートナーシップの認定



別表 産業廃棄物処理業等許可情報一覧表

産業廃棄物収集運搬業				許可品目(●)												
No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ
(※) 1	埼玉県	01101023232	2016年9月20日 2023年9月5日	●	●	●	●	●	※3	※2	※3	※1	●	●	●	●
2	川越市	10310023232	2016年10月7日 2023年9月5日	●	●	●	●	●	※1	●	●	●	●	●	●	●
3	群馬県	01000023232	2022年3月17日 2029年3月16日	●	●	●			※1	●	※1	※1	●	●	●	
4	東京都	1300023232	2022年6月12日 2029年6月11日			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5	栃木県	00900023232	2012年6月15日 2029年6月14日			●			※1	●	●	●	●	●	●	
6	茨城県	00801023232	2022年12月14日 2029年10月11日			●			※1	●	●	●	●		●	
7	千葉県	01200023232	2022年8月19日 2029年8月13日		●				※5	※4	※5	※1	●	●	●	
8	神奈川県	01403023232	2016年9月9日 2023年8月31日		●	●	●	●	※3	※2	※3	※1	●	●	●	
9	長野県	2009023232	2023年2月24日 2030年2月23日	●	●	●			※1	●	※1					
10	福島県	00707023232	2020年6月23日 2027年6月14日	●	●	●	●	●	※1	●	●	●	●	●	●	●
産業廃棄物処分量(中間処分)				許可品目												
11	川越市	10320023232	2014年4月30日 2028年4月4日						●						●	

特別管理産業廃棄物収集運搬業				許可品目				
No.	都道府県・政令市	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃油(揮発性)	廃酸(腐食性)	廃アルカリ(腐食性)	廃油(廃溶剤含む)	汚泥(廃溶剤含む)
12	埼玉県	01151023232	2023年4月3日 2030年3月31日	●	●	●	●	●
13	東京都	1357023232	2019年10月9日 2026年10月8日	●	●	●		
14	長野県	2059023232	2017年3月28日 2024年3月27日			●		

(※)NO.1~NO.14すべての産廃処理許可証において「優良産廃処理業者認定制度」に基づく『優良認定』を取得済みです。

※1 石綿含有産業廃棄物を含む。
 ※2 水銀使用製品産業廃棄物を含む。
 ※3 石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含む。
 ※4 水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。
 ※5 石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物を除く。

その他業の登録証

No.	都道府県・政令市	登録番号	登録年月日及び有効期限	登録証種類
15	さいたま市	第167号	2023年4月1日 2025年3月31日	一般廃棄物処理業(収集・運搬業) 取扱一般廃棄物の種類 (事業ごみ・道路公園等清掃ごみ・一時多量ごみ・特定家庭用機器一般廃棄物)
16	埼玉県	II-60	2010年9月28日 期限無し	廃プラスチック類再生
17	埼玉県	12440180	2020年6月17日 2025年6月16日	第1種フロン類回収業者
18	埼玉県	(登-17) 第622号	2015年5月16日 2025年6月16日	解体工事業
19	埼玉県	第38号	2021年10月01日 2024年09月30日	事業系一般廃棄物(ごみ) 家庭系一時多量ごみ